報道関係各位
プレスリリース

2026 年 11 月 18 日
株式会社 SkyDrive
九州電力株式会社

SkyDrive と九州電力は、空飛ぶクルマを活用したまちづくり・都市開発に関する包括連携協定を締結しました

― 次世代モビリティ×都市開発による新たなエリア価値創出に向けた取組みを推進 ―

株式会社 SkyDrive（以下「SkyDrive」）と九州電力株式会社（以下「九州電力」）は、空飛ぶクルマの社会実装に向け、まちづくりや都市開発への活用可能性、新たな移動サービス及び関連する事業機会について共同で検討することを目的として、包括連携協定を締結しましたので、お知らせいたします。

【背景・目的】

近年、人口減少や生活様式の変化などを背景に、地域における移動サービスの維持・確保が課題となる一方、人々の移動ニーズは多様化しており、それらに対応した移動手段の充実が求められています。空飛ぶクルマは、こうした課題の解決に資する新たな移動手段として期待されており、地域間・地域内の移動利便性向上に加え、人やサービスの新たな流れを創出し、地域活性化やエリア価値向上への貢献が期待されています。

SkyDrive は空飛ぶクルマの機体メーカーとして「日常の移動に空を活用する」ことを目指し、空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組みを推進しています。九州電力は地域の特性を活かしたまちづくりや都市開発を通じて、持続可能な地域社会の実現を目指しています。

今回の連携により、空飛ぶクルマを活用したまちづくり・都市開発や新たな移動サービスへの活用可能性について検討を進め、地域課題の解決、交流人口の拡大、観光需要の創出、エリア価値の向上につながる新たな事業機会を探索します。これらを通じて、地域共創による新たな価値創出と持続的な地域発展への貢献を目指します。

【本検討の概要】

両社は空飛ぶクルマに関して以下の検討を進めてまいります。

（1）まちづくりや都市開発への有効性に関する事項
（2）事業スキーム及び関係者連携等に関する事項
（3）地域課題の解決及び地域活性化に資する取組みに関する事項

■株式会社 SkyDrive について

株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO：福澤知浩）は、「空飛ぶクルマ」（eVTOL）の開発・製造・販売を行う 2018 年設立の企業です。

「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに掲げ、2028 年のサービス開始を目指して「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」を開発しています。軽量・コンパクトで静音性が高く、ビルの屋上など限られたスペースから離着陸できることが特長です。

【最近のトピック】

・ 2025 年に大阪・関西万博でデモフライトを実施
・ 2026 年 6 月 には時速 100km での安定飛行を確認、累計 300 回超のフライトを無事故で達成
・ 2026 年 9 月には「日本スタートアップ大賞 2026」で国土交通大臣賞を受賞

公式 HP：https://skydrive.co.jp/



SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）の市街地での運航イメージ

■九州電力株式会社について

九州電力は、1951 年に設立され、総合エネルギーサービス事業に加え、再生可能エネルギー、海外、ICT サービス、都市開発など幅広い事業を展開しています。「ずっと先まで、明るくしたい。」というキューデングループのブランドメッセージのもと、豊かで快適な生活につながる環境に優しいエネルギーをお届けするとともに、新たな技術の活用や他社とのアライアンスなどを通じて、社会課題の解決に貢献し、地域・社会とともに九州から未来を創っていきます。

公式 HP：https://www.kyuden.co.jp/

以　上